

## 第Ⅳ期 渋谷川・古川流域連絡会議事録（第7回）

開催日時 平成23年 1月18日（火） 14時30分～16時30分

開催場所 渋谷区勤労福祉会館 2F（第二洋室）

### 【議 事】

平成23年1月18日（火）14時30分から、渋谷区勤労福祉会館 2F（第二洋室）において「第Ⅳ期渋谷川・古川流域連絡会（第7回）」を開催しました。都民委員6名、行政委員18名が出席し、河川整備計画等の議題に対して意見交換を行いました。

### 【配布資料】

資料1	議事次第
資料2	座席表
資料3	流域連絡会委員名簿
資料4	前回までの開催の経緯、及び前回議事録
参考	ホームページ「あるく渋谷川入門」
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋谷川・古川流域連絡会の今後の予定（V期について）</li> <li>・渋谷川上流部について</li> <li>・「渋谷駅中心地区まちづくり指針2010(案)」における 渋谷川に関連する考え方</li> <li>・渋谷川の現況</li> <li>・恵比寿東公園整備について（渋谷川への雨水河川放流）</li> </ul>

### 【意見交換】

（事務局）

今回から座長のお声掛けで、渋谷区中心地区のまちづくり指針を担当されております、渋谷区都市整備部の植木副参事が行政委員として出席頂くようになりましたのでご紹介いたします。

（渋谷区都市整備部都市基盤整備調整担当）

渋谷区都市整備部都市基盤整備調整担当という役を頂いております。おもに渋谷全体の基盤整備の調整担当をしています。よろしく願いいたします。

- 議題（1）「(1)前回までの連絡会開催の経緯、及び前回議事録」について事務局より説明がありました

（事務局）

議事録の5回は事務局のほうで修正済みとさせていただきます。本日添付してあります第6回は、一部手直しをしていますが、まだ完成していません。何かありましたらこの会議後にも修正箇所を教えいただきたいと思っております。

（座長）

議事録につきまして修正点があれば、事務局のほうにお伝え下さい。開催経緯につきましても、何かありましたら同様をお願いいたします。

- 議題（2）「恵比寿東公園整備について」渋谷区より説明がありました

### 【意見交換】

（渋谷区）

恵比寿東公園は、今年度第1期工事、来年度第2期工事ということで工事をしているところです。

（渋谷区）

「恵比寿東公園整備について（渋谷川への雨水河川放流）」をご覧ください。

昨年度の護岸工事を皮切りに護岸工事、公園工事さらに護岸・公園と続きまして平成23年度の秋に工事完了予定です。公園の中から水を放水させて親水護岸を通して渋谷川に放流するイメージとなっております。

(都民委員)

小さい公園で地域のシンボルになるにはちょっと面積的には難しいですが、みんなが目にするような植栽の計画をしたらいいと思います。

(都民委員)

地域としての植栽計画を立てて、地域らしさを植栽によって残す。季節が来れば何の花が咲くというような特徴を是非作る機会がないのか。

(渋谷区)

この公園はタコ公園と地元では言われるくらいで、タコの遊具を残してほしいと言われていて、今までのものは老朽化してきていますので、新しいタコを置くというようなことと、あと公園の特徴としては桜を活かすというようなことを考えております。渋谷区では初めて鳥取芝を使うというようなことで、これを地元のみなさんと一緒に植えて管理をして行くことで考えています。

(都民委員)

担当者が違うと無関係に地域の緑化が進むようで、両者が共同して一つの地域の緑作りを進めるいい機会ではないのかと思われる。

(座長)

今の説明を聞いている限りでは、地域性も良く活かされているみたいですし、市民参加もなされているようですので、大丈夫なように思います。

(都民委員)

渋谷区の花である、コウホネを植えるようなスペースを是非確保していただきたいと公園課の方をお願いしています。

(都民委員)

渋谷区でも唯一児童遊園です。港区はどこにあるのか参考にしたいのでご紹介いただきたいと思います。

2つ目は川に魚がないのは耐えられない。ここの場所だけでいいから、魚がいるくらいに公園の下に何とか工夫してもらいたい。

(渋谷区)

これは児童福祉法にうたわれている児童遊園に認定しているもので、周りに大きな施設が出来ないように都に認定していただいたというものです。

(座長)

魚を呼び戻す対応をしてくださいということですが、いかがですか。

(河川部)

今は50ミリ/h対応ですけれど、50ミリを超える雨が降ったり、局所的な集中豪雨で100ミリ/hを超える雨の対策も必要です。こういった都市の限られた中で安全を第一という事で、その中で出来ることをしていこうと思っております。

(都民委員)

集中豪雨の時は、ものすごい量、勢いで流れていくので、魚とかいてもだめだし、魚も欲しいけど、集中豪雨で浸水するのもなんとかして欲しい、微妙ですね。

(都民委員)

ボラが山下橋のところまで上ってきます。9月の朝、天気が良く、水がいかにも温かそうだなという時です。

(座長)

魚が上ってこれるような川というのを流域連絡会の皆さんは望んでいる。

東京都側としても、どういうふうにしたら上ってこれるのかということを検討して頂いて、事業の方に生かしてもらえればと思います。

## ■ 議題（3）「渋谷川上流部について」について河川部より説明がありました。

### 【意見交換】

(河川部)

東京都として、稲荷橋から新並木橋下流の区間について、川づくりを進めていくかということで、地元の方々の意見を聞く場として、渋谷川上流部意見交換会というものを7月に設置させて頂きました。

上流部意見交換会のメンバーは、街づくり関係の方々、協議会の方々、それから沿線住民の代表ということで、渋谷川の天現寺橋から稲荷橋の区間の町会長、地元の直近の町会の方、商店会の方です。7月から合計5回開催して意見交換会は終了させて頂きました。その報告を説明させて頂きます。前提条件として稲荷橋から八幡橋の区間については、現況の川幅という中で、どういう川づくりができるかということを検討していきました。

会の中で頂いた意見としては、断面を拓げられることはいいことである。景観の改善にも役立つ。緑道とか水を見ながら歩ける散策路などを整備すれば、地元の人を呼込むことができる。目的にあったデザインを十分にすべきである。デザインなんかはそういう知見のある方の意見を聞いて造って欲しい。良好な空間を形成するのは良いが、将来的な管理の仕方を含めて今後議論が必要である。又、急激に増水した時にどういうふうに安全性を確保するのかということは、今後考えなければいけないという意見も頂きました。

(座長)

今の河川部からの話にもありましたように、稲荷橋の近辺については街づくりの話もダブってくるということでした。今日、渋谷区の街づくりの担当者に同席して頂いていますので、この辺の説明を同時にしたほうがよいと思うのですが。

(渋谷区)

座長も出席して頂いていますが、約2年前から駅街区、駅周辺地区、駅中心地区の街づくり指針というものを作成しています。我々の指針としては渋谷川が発生した時から緑と水の軸をもう一度戻したいということ、街づくり全体としては、人を回遊させたいということです。渋谷川も非常に渋谷区としても重く受けとめていまして、緑と水の軸、回遊性、安全安心、それから景観とか、環境とかそういったものを少しでも昔のように戻りたいなという願いがあります。

(渋谷区)

渋谷駅前広場、ハチ公広場が区画整理で変わります。これに付随して来春には竣工となる東急プラザのあたりと、246号線の南側の2ヶ所、東横線の跡地になるところ、桜ヶ丘のほうで大きな再開発の動きが立ち上がっております。

(座長)

渋谷川に関するところは、どこを注意すればいいのですか。

(渋谷区)

渋谷川に関するところは、今東横線の跡地になっているところで、大きな再開発の動きがありますこの辺りというふうに考えています。

(渋谷区)

行政の押し付けではなくて、地区の皆さんの発意でもって良い街づくりをしようというのが渋谷区の特徴であります。

(都民委員)

基本だけ言ってください。川をどういうふうにしたいのか。川をどういうふうに、そういった中に入れ込もうとしているのか、そこだけ聞きたい。

(渋谷区)

渋谷川の川沿いの緑化、整備のことはとても重要であるということに位置づけています。緑化のイメージとして、地上レベルは緑と水の空間形成に向けて、地上、建物上を高木等によって積極的に緑化し、連続した緑を作るとか、広場、街路、川に沿った地上部の緑化ということで位置づけています。

(座長)

結局、渋谷区としてどうしたいのか。

(渋谷区)

東京都の中でも、指針作りを街の皆さんと一体となって行っています。この指針が地区計画の素地になってやっていくという意味からすると、行政がこれでいくと決めるよりも、街の皆さんと一緒に決めていくのが渋谷区のスタンスです。

(座長)

この八幡橋から新並木橋までのところは街づくり指針にあっていますか。

(渋谷区)

個人的には合っていると思います。安全性とか、そういったものにどう配慮するのかという問題はありますが。

(座長)

稲荷橋から八幡橋については複数の案が出ていますが、これについては渋谷区としてはどういう流れになって決めていくのですか。

(渋谷区)

今指針に合わすという、回遊性とか、緑とか、せせらぎとかいう文面が欠けているので、それをどういう形で補っていくかということは、当然、その担当である河川部、二建、それから地元の皆さん、区も一緒になって、そんなに時間かけないで考えていかなければいけないと思っています。

(座長)

街づくり指針では、緑と水の軸、回遊性、安全・安心をどう組み合わせしていくのか、早く決める必要があります。

(渋谷区)

指針というのは、具体的なものを事業者或いは町の人が出してきて、一緒になって考えていく。

(座長)

区としては区民の総意みたいな意味ですね。実際には河川の整備ですから、東京都の技術的なものとの調整も重要です。

(座長)

それではその他について、事務局からお願いします。

(事務局)

(第Ⅴ期に向けて、Ⅳ期の経緯とともに追加資料-1で説明を行った)

(都民委員)

現在麻布十番の古川地下調整池の工事はどうなっているのでしょうか。

(一建)

全体の深さが50mの予定で、今36m位縦穴を掘り進むことができました。今後引き続き50mの所まで掘下げます。

(座長)

それでは第7回の流域連絡会を終了します。

(事務局)

皆様のご協力により第Ⅳ期を無事終了することができました。